

第13期定時株主総会

2022年3月25日



株式会社ブロードリーフ

議決権数報告

監查報告

報告事項

報告事項

- 1 事業の経過及びその成果
- 2 連結計算書類
- 3 計算書類

日本経済

- 新型コロナウイルスに対する感染拡大防止策・ワクチン接種の普及
 - ▶ 持ち直しの動き
- 新たな変異株の出現による感染の再拡大
 - ▶ 下振れリスクが懸念



先行き不透明な状況が継続

情報サービス産業

- テレワークなど「新しい働き方」の実現
 - ▶ 企業のDX投資が拡大
- 先行き不透明な景況感
 - ▶ 非戦略領域の新規投資には慎重な姿勢



IT投資需要は強弱感が混在

情報サービス産業

- 新型コロナウイルスの感染拡大
 - ▶ 半導体需給のひっ迫、サプライチェーンへの影響が継続
 - ▶ ハードウェアの一部は不安定な供給



今後も注視が必要

当社グループの取り組み

新クラウド業務ソフトウェア『.cシリーズ』

- ▶ 2022年の本格販売に先立ち
一部の顧客に先行販売を開始
- ▶ 月額サブスクリプション契約への転換

自動車メーカー系の金融会社との協業を開始



今後のモビリティ社会の動向を
見据えた施策を推進

事業の経過及びその成果



売上収益

206億52百万円

(前事業年度比 2.4%減)

営業利益

33億95百万円

(前事業年度比 17.9%減)

税引前利益

32億33百万円

(前事業年度比 15.4%減)

親会社の所有者に
帰属する当期利益

21億73百万円

(前事業年度比 11.9%減)

当社グループの現況に関する その他の事項

招集ご通知 20～30ページ

- II. 会社の株式に関する事項
- III. 会社の新株予約権等に関する事項
- IV. 会社役員に関する事項
- V. 会計監査人の状況
- VI. 企業集団の業務の適正を確保するための体制
- VII. 企業集団の業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要
- VIII. 剰余金の配当等の決定に関する方針

招集ご通知 31～44ページ

報告事項

1 事業の経過及びその成果

2 連結計算書類

3 計算書類

連結財政状態計算書

招集ご通知 45ページ

連結財政状態計算書

資産 344億76百万円	負債 83億62百万円
	資本 261億14百万円

連結損益計算書

招集ご通知 46ページ

連結持分変動計算書

連結注記表

当社ウェブサイトに掲載

報告事項

- 1 事業の経過及びその成果
- 2 連結計算書類
- 3 計算書類

貸借対照表 損益計算書

招集ご通知 47～48ページ

株主資本等変動計算書 個別注記表

当社ウェブサイトに掲載

当社事業の状況



当社事業の状況

～ハイグロース企業への進化～

当社グループはクラウドサービスの会社として
更なる成長を実現し、
ハイグロース企業へと進化(※)していきます。

(※)お客様へより良いサービスを提供することを通じて、
売上・利益の飛躍的な拡大を実現すること

ハイグロースを可能とする当社グループのクラウド



高拡張性

- 他社も含めた様々なサービスとの容易な連携が可能

高スピード

- 機能やサービスの追加・拡張のスピードが大きく向上
- お客様のサービスメニューへの追加がいつでも可能

高性能

- 大量高速処理、人間工学に基づくUI、AIを用いた操作性

低コスト化

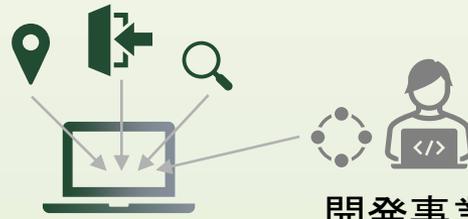
- 低コストでサービス拡張が可能

様々な機能(マイクロモジュール)
を組み合わせてサービ化



クラウドソフト

3rdパーティーによる
機能追加・拡張が可能



開発事業者

クラウドソフト

他社ソフトとの
容易な連携(API連携)



クラウドソフト

他社ソフト

Broadleaf
Cloud
Platform



マイクロモジュール群

ハイグロースを可能とする当社グループのクラウド



- 業務用アプリケーションからトータルマネジメントシステムへ進化
 - クラウドソフトは単体でトータルマネジメントシステムとして機能
 - 加えて、他社も含めた様々なサービスとの連携により、ERP(※)のコアシステムとなる

(※)企業の持つ資源を一か所に集めて有効活用ためのシステム



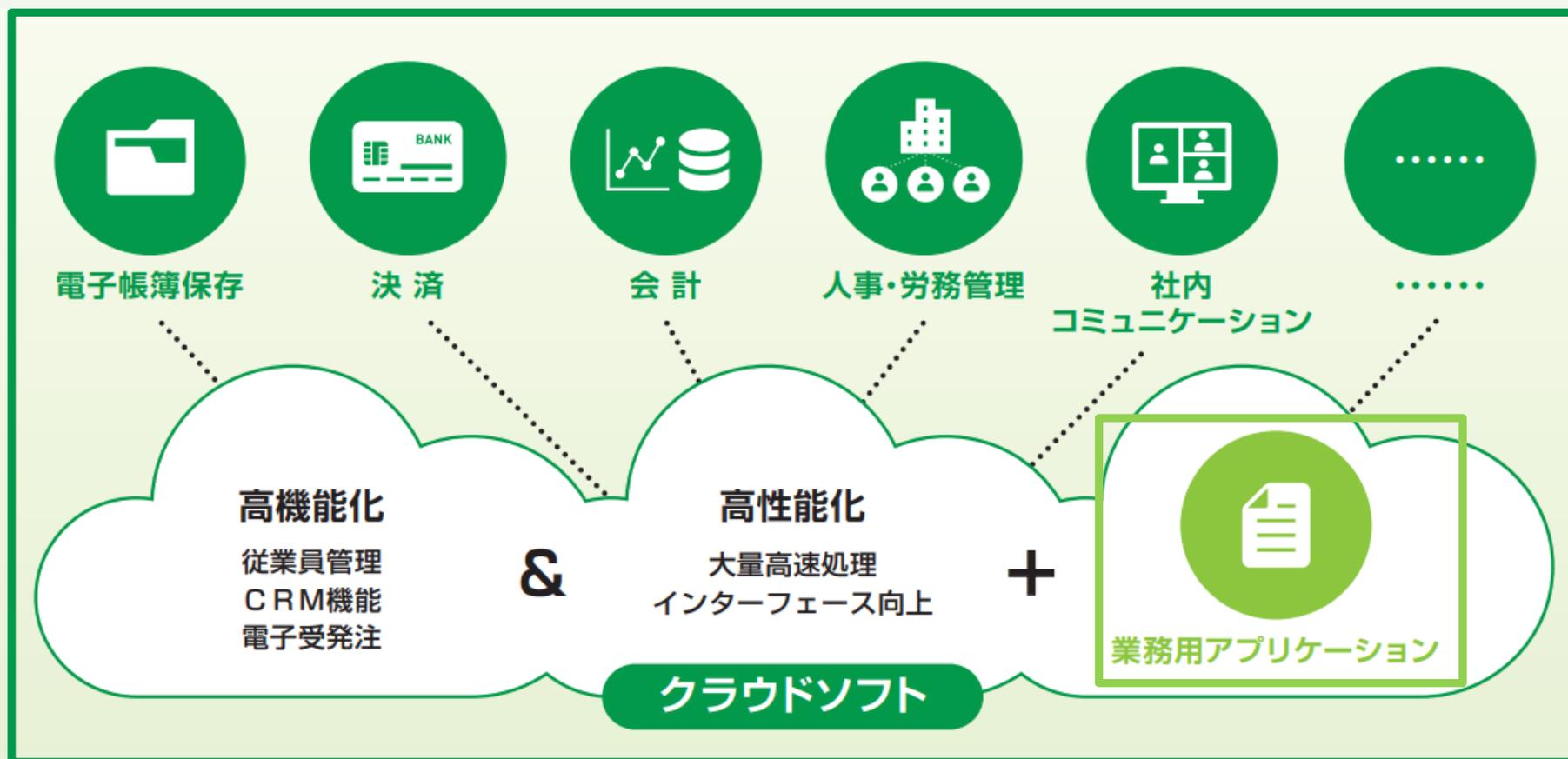
クラウド化により 成長が可能となる理由

- サービスの拡張
 - トータルマネジメントシステムによる課金ポイントの増加
- マーケットの拡張①
 - マーケットの変化への対応
- マーケットの拡張②
 - 大手顧客への導入促進
- クラウド移行計画の確度の高さ
 - クラウドへの移行における当社グループの優位点

サービスの拡張(課金ポイントの増加)

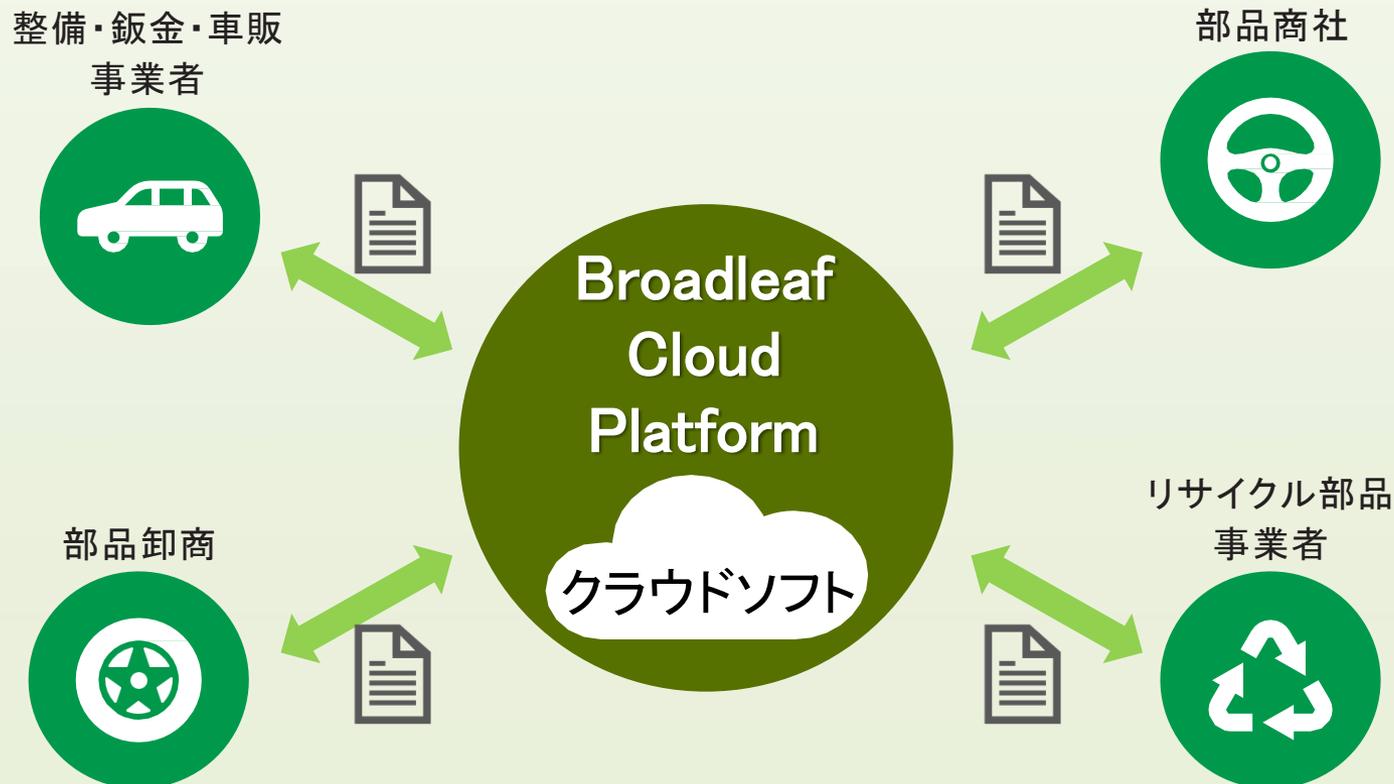
- トータルマネジメントシステムへの進化により、課金ポイントが飛躍的に増大

 従来ソフトの課金ポイント  クラウドの課金ポイント



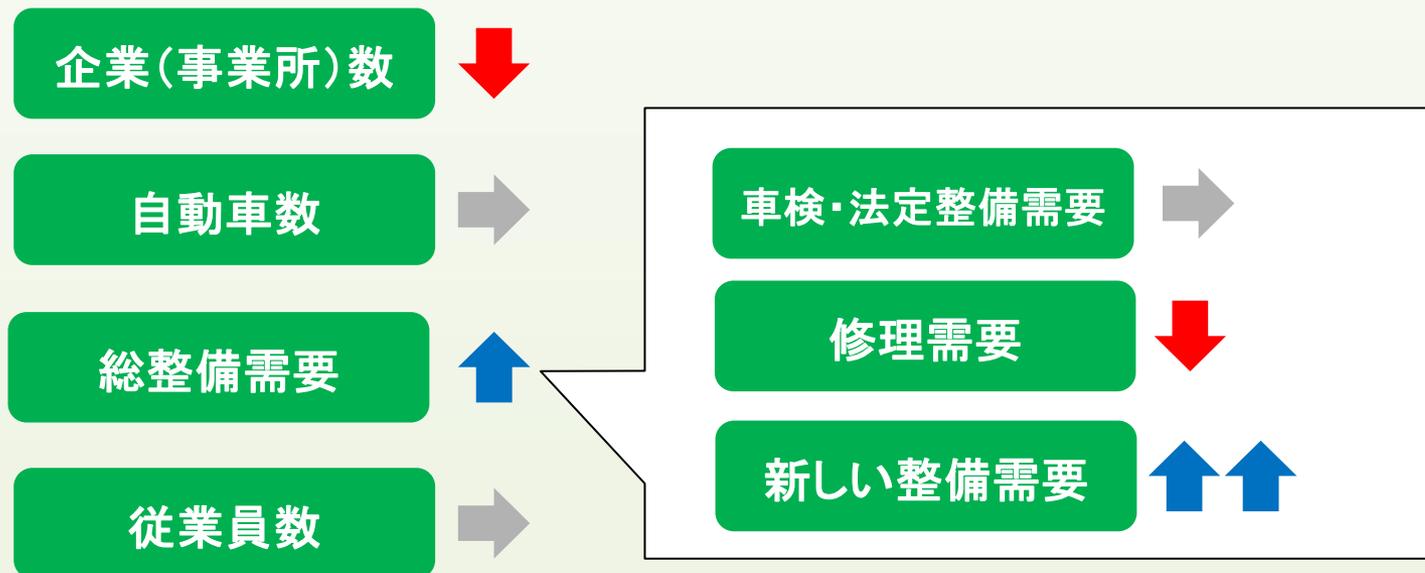
サービスの拡張の例 (電子帳簿保存法の改正)

- 当社グループは圧倒的No.1のシェア。取引先の大半の基幹システムは当社グループ商品であり、圧倒的な連動性を実現
- 書類全体の約85%は当社グループの商品から印刷。これを自動的に電子化可能なのは当社グループのサービスのみ



マーケットの拡張①(マーケットの変化への対応)

今後の増減予測



- 企業(事業所)→従業員へライセンスの考え方の見直し



- 新しい整備需要により需要が高まる自動車電装業者のシェアを高めてきた(当社グループ商品のシェアはほぼ100%)
- 電子化により電子部品は修理から交換に。部品の取扱いあたりの単価が向上し、当社が進めてきた部品流通ビジネスにプラス

ライセンスの考え方の見直し

従来ソフト



経営者



店長・工場長



経理



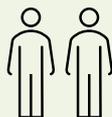
人事総務



整備士



受付・事務



営業

クラウドソフト



経営者



店長・工場長



経理



人事総務



整備士



受付・事務



営業

企業

従来ソフト

工場・事業所

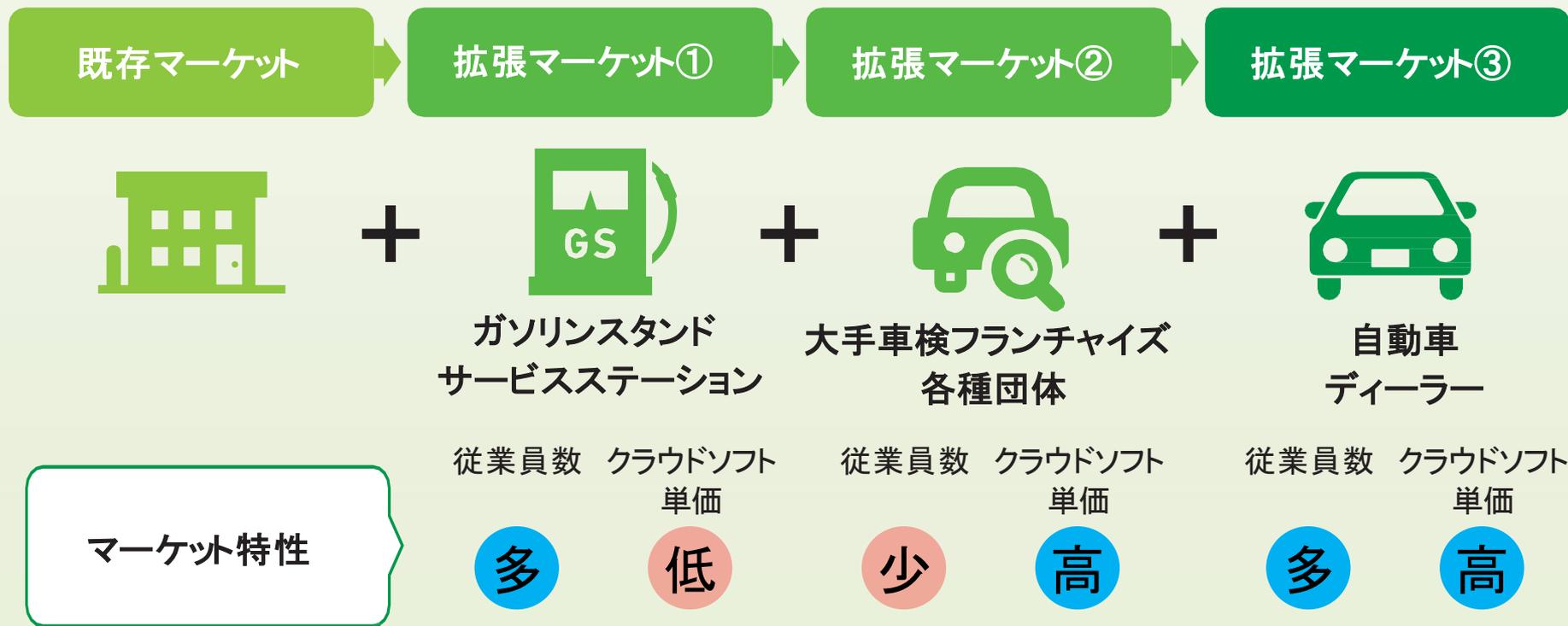
業務内容

従業員

クラウドソフト

マーケットの拡張②(大手顧客の導入促進)

- クラウドによりお客様に応じた機能・サービスの実装が容易に実現。大手のお客様へのサービス提供が可能になる
- 拡張するマーケット毎に異なる特性を考慮し、最適なクラウドソフトの利用数と単価の組合せにより、売上を拡大する



クラウド移行計画の確度の高さ

- クラウド移行がスムーズに進められる強い基盤を持っている

盤石な顧客基盤

- 33,000社のユーザーを抱えトップシェア
- ユーザー社数は継続して増加中
- 従来ソフトの解約率は1%未満

商流の全範囲にサービス提供



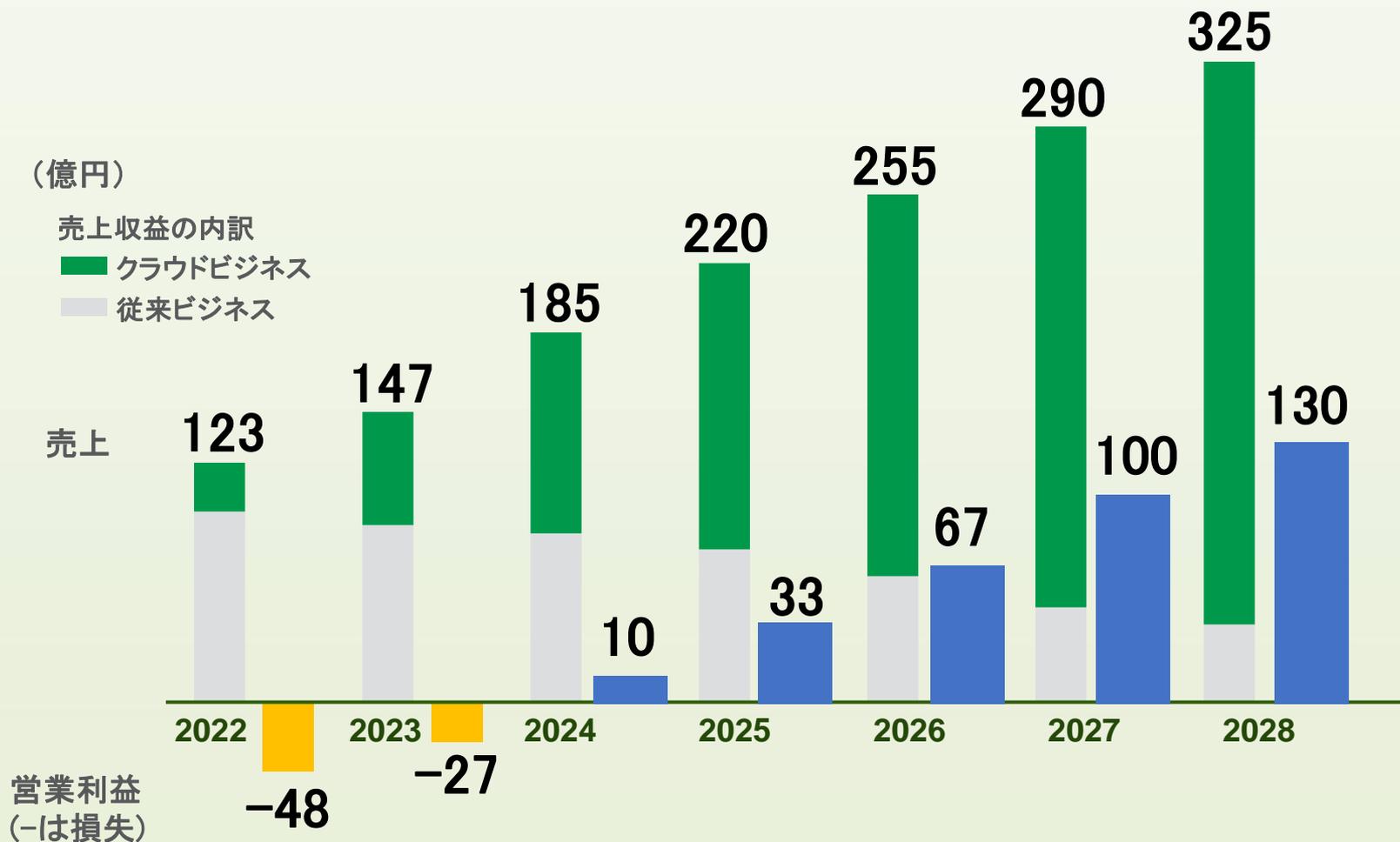
+

- Broadleaf Cloud Platform とクラウドソフトの圧倒的な競争優位性**
 - 競合他社が追随できないサービスの提供
- 現状の契約状況に基づく無理のない移行計画**
 - 従来ソフトの契約満了に合わせて、順次クラウドへ移行する計画

業績計画

業績計画(2022年-2028年)

- 2022年を起点に業績は毎年上昇
- 2028年には営業利益率40%を目指す

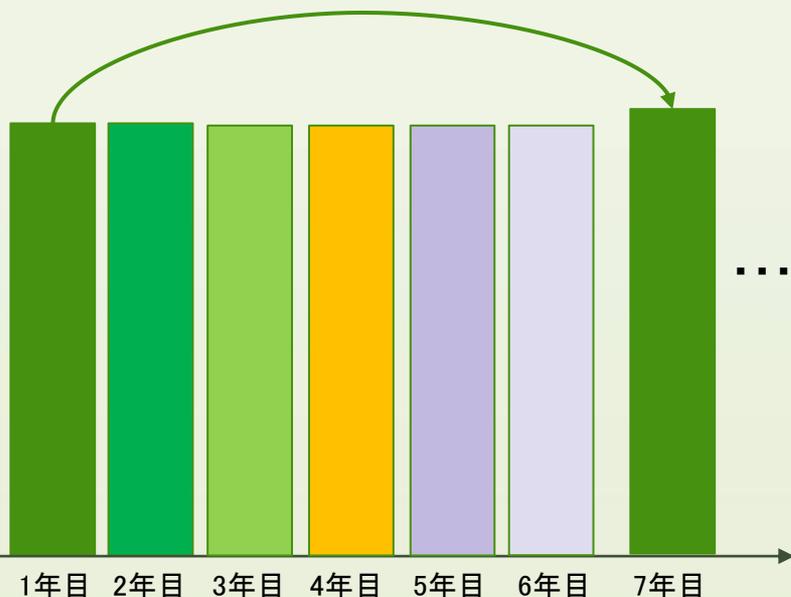


2022年～2025年：一時的な業績低下

- クラウドは月額での売上計上となるため一時的に売上が減少

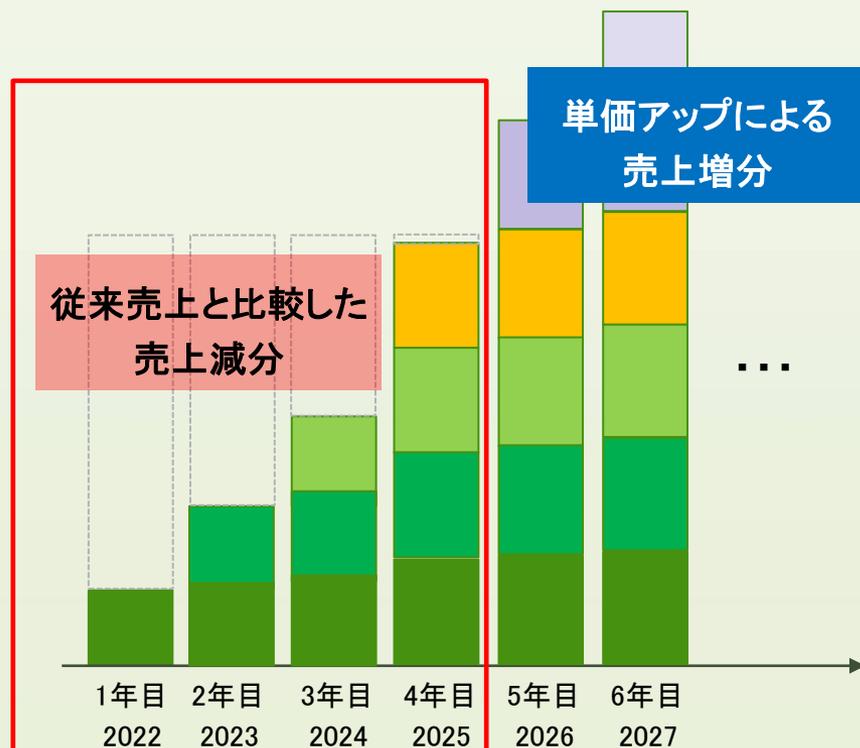
従来ソフトの売上計上

- 6年毎に6年分一括の売上計上



クラウドソフトの売上計上

- 月額計上になるため、1ライセンス当たりの毎年の売上は1/6になる
(移行月により、移行年の売上は最大で従来の1/72に減少)

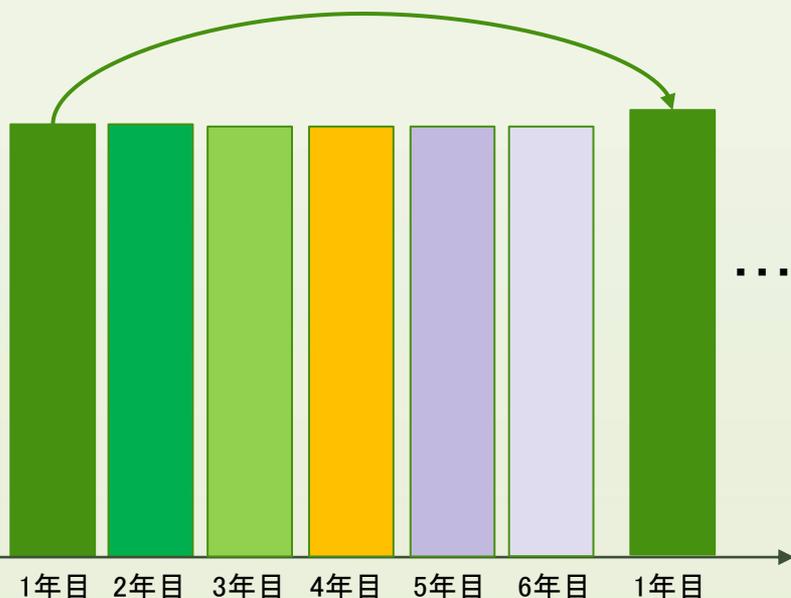


2026年以降：業績拡大

- 月額売上の積み重ねと単価UPにより売上拡大

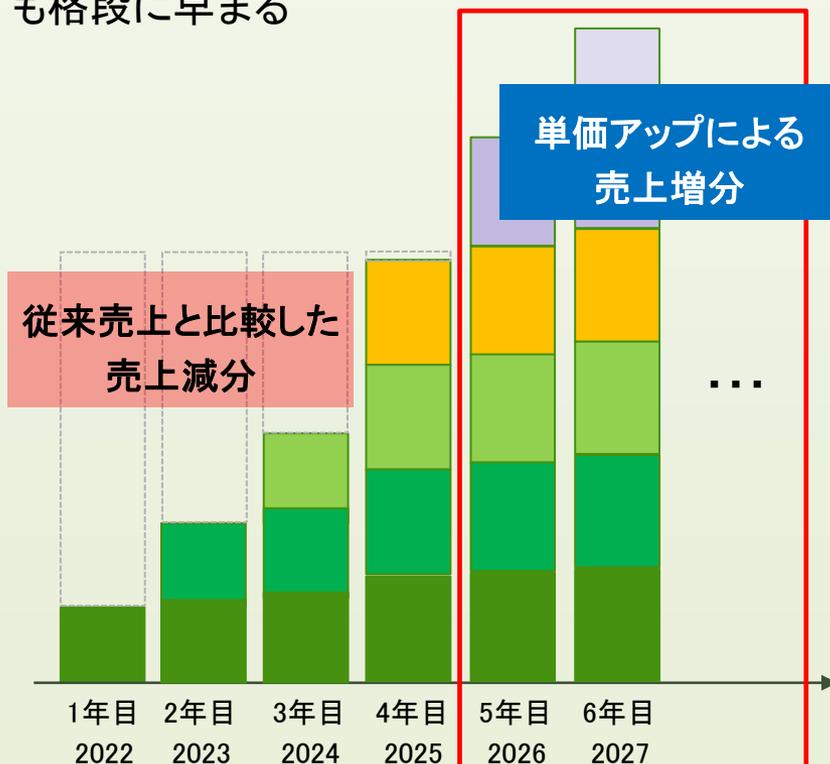
従来ソフトの売上計上

- 単価UPのタイミングは6年単位

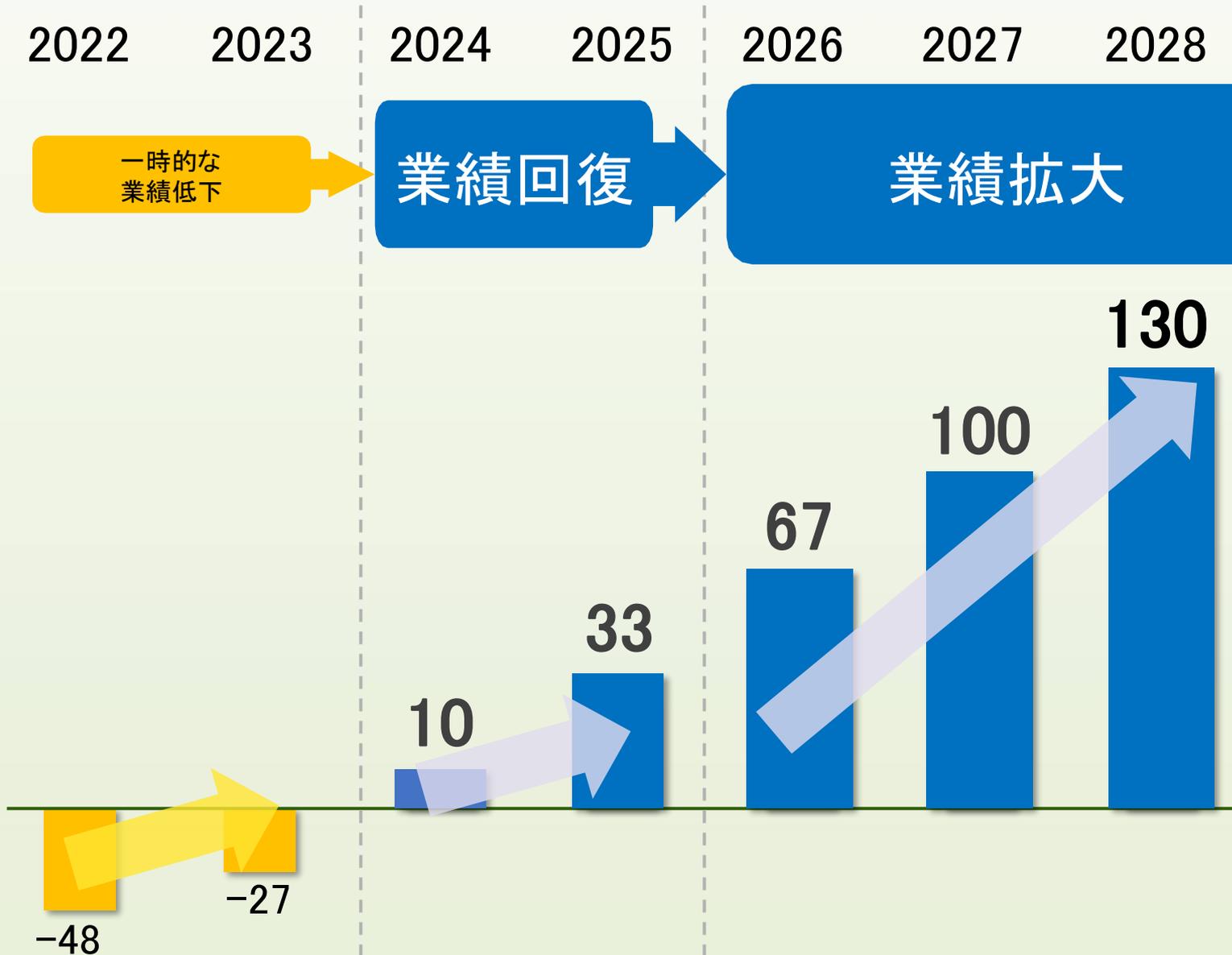


クラウドソフトの売上計上

- 拡張したサービスをいつでもお客様にメニュー展開可能
- 単価UPによる売上増加のスピードが従来よりも格段に早まる



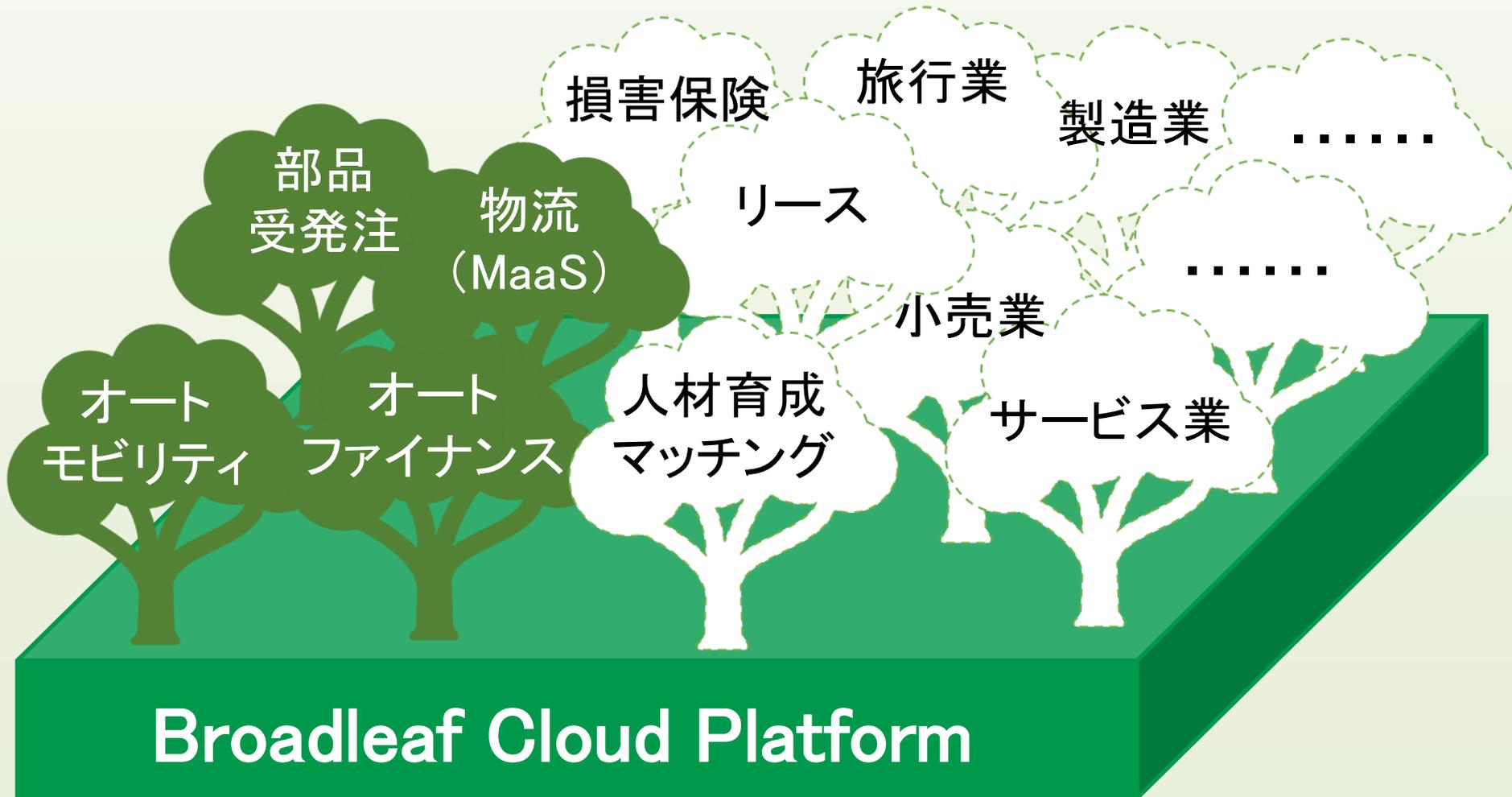
營業利益計畫



更なる成長に向けた取組み

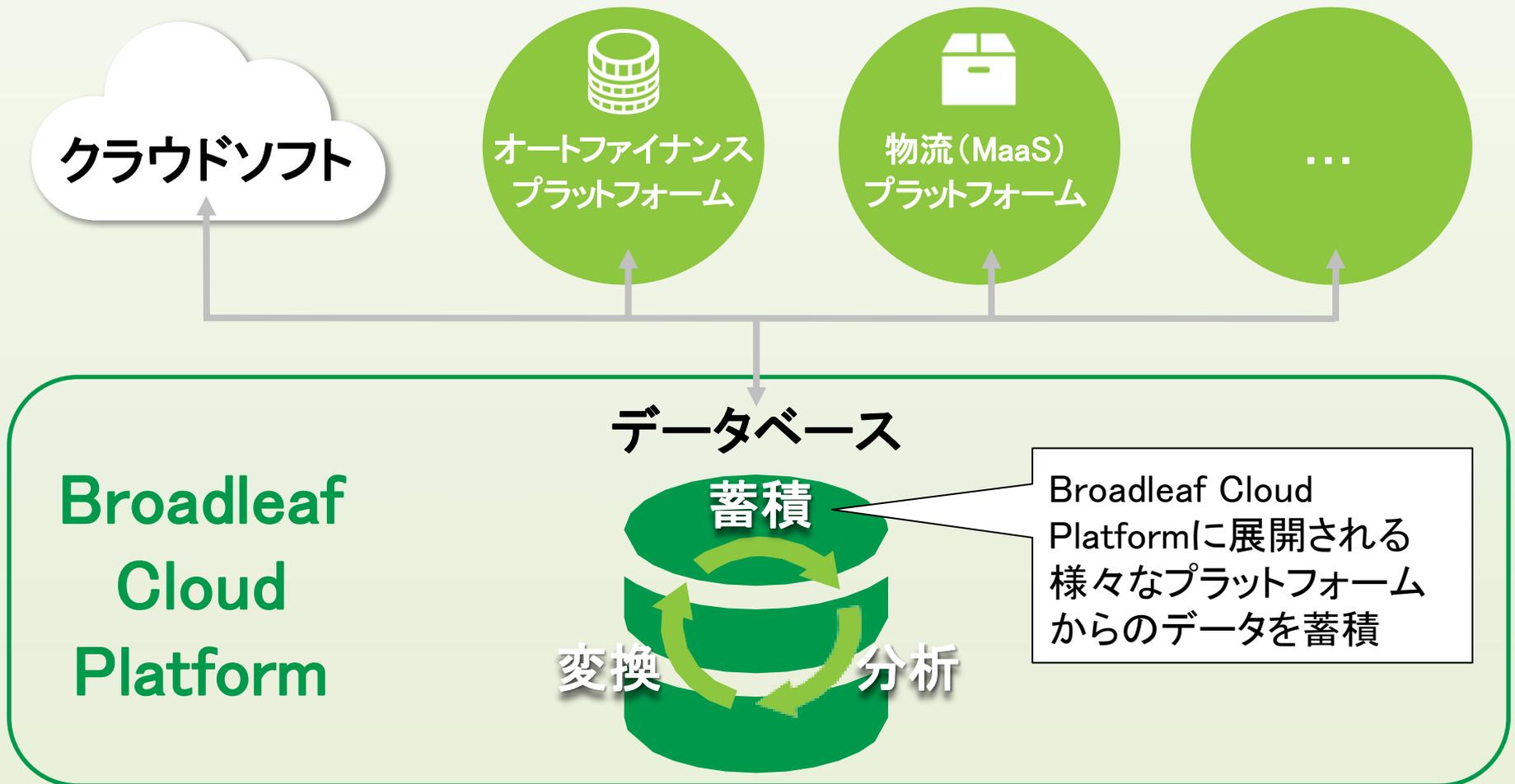
更なる成長に向けた取組み (プラットフォーム事業の拡張・多角化)

- Broadleaf Cloud Platformをベースにしてプラットフォーム事業を拡張・多角化していく



更なる成長に向けた取組み (データビジネスの展開)

- Broadleaf Cloud Platformに蓄積されたデータを統合・分析し、お客様が求める形に変換して提供。データの価値を高めてビジネス化



事業活動を通じた 社会課題の解決に向けた取組み

当社グループは
ハイグロース企業へと進化していくと共に、
事業活動を通じた社会課題の解決に向けた
取組みを強化してまいります。

ブロードリーフの「企業理念」及び「社名の由来」に
込められた想いの実践を通じて
『持続可能な社会の実現』と『企業価値の向上』を目指していく

企業理念

感謝と
喜び

課題解決のテーマ



安心安全で快適な
移動社会の実現



資源の循環型
利用の促進



働きやすい
社会の実現

取組み事例

お客様と
一体となった
CO2排出削減に
向けた取組み



環境に配慮した店舗作り

- 太陽光発電の導入
- LED照明への切り替え



紙の削減

全てのお客様で1億枚以上
(年の紙伝票)

- お客様のDX推進
- 電子受発注の促進



Grow Leaf プロジェクト

- 地球環境の保全に取り組む
ための企業参加型プロジェクト



「全国高等専門学校
プログラミングコンテスト」
特別協賛

- 若者の育成を支援

協賛活動を通じた啓蒙活動



Grow Leaf プロジェクト: 植樹の様子



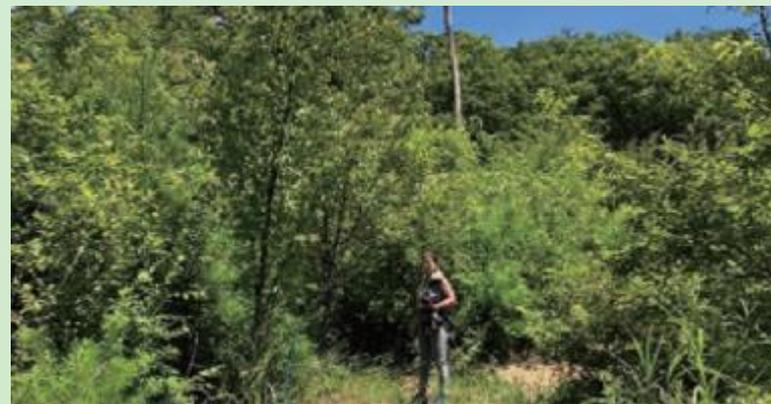
- 2008年に『Grow Leaf プロジェクト』発足
- 発足以来続いている植林イベント(2019年、20年はコロナの影響で中止)等を通じて、累計1,120本の植樹を実施



植樹直後(2009年)の様子



2019年の同一エリアの様子



当社グループはクラウドサービスの会社として
更なる成長を実現し、
ハイグロース企業へと進化していきます。

第13期定時株主総会

2022年3月25日



株式会社ブロードリーフ

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

「会社法の一部を改正する法律」(2022年9月1日施行)



株主総会資料の電子提供制度導入に
備えるための変更

招集ご通知 5～6ページ

第2号議案

剰余金処分の件

- 期末配当 1株につき4.7円（年間配当 8.7円）
- 総額 429,448,076円
- 効力発生日 2022年3月28日

招集ご通知 7ページ

第3号議案

取締役6名選任の件

番号	氏名	番号	氏名
1	おおやま けんじ 大山 堅司	4	たかだ ひろし 高田 坦史
2	やまなか けんいち 山中 健一	5	たなか りさ 田中 里沙
3	きざわ もりお 鬼澤 盛夫	6	いぐし くみこ 伊串 久美子

招集ご通知 8～15ページ

第4号議案

補欠監査役2名選任の件

番号	氏名
1	いけだ きんや 池田 欽哉
2	あさくら ゆうすけ 朝倉 祐介

招集ご通知 16～18ページ

第13期定時株主総会

2022年3月25日



株式会社ブロードリーフ

質疑応答

ご発言の際は

入場票番号をお願いいたします

※プライバシー保護の観点から

お名前のご発言は不要です

採 決

第1号議案

定款一部変更の件

第2号議案

剰余金処分の件

第3号議案

取締役6名選任の件

第4号議案

補欠監査役2名選任の件

第13期定時株主総会

2022年3月25日



株式会社ブロードリーフ

經營陣紹介

第13期定時株主総会

2022年3月25日



株式会社ブロードリーフ